

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どものリハビリセンター 浅川事業所		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 10日		～ 令和8年 4月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 10日		～ 令和8年 4月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの特性に合わせ、専門職(理学療法士、言語療法士、保育士等)を配置し個別リハビリを利用時毎に行っています。また、作業療法士も他事業所に常駐しているため、必要に応じて情報共有し、より良い個別リハビリの質の向上を実施しております。	専門職を常勤で配置し、利用時に毎回行えるように体制を整えています。また個別リハビリでの内容を踏まえ、集団の中や、社会の中で自立できるよう支援を行っています。ご家族からの相談や気になるところがあれば専門的な評価を行いアドバイスできるよう心掛けています。	今後も、ご家族から質問や相談を、また気になるところがあればこちらから提案しながらお子さんの理解、療育に努めていきたいと思っています。
2	5領域と照らし合わせながら、お子さんの個々の特性に合わせたリハビリを提供し、積極的に療育を図る体制を整えています。	「自立できるこどもを育成する」という理念の下、適切な社会性を身につけられるように支援を行っています。お子さんを専門的知見から観察、評価しその時々状況に合わせた支援を行っています。また、職員間で情報共有を行い、個別のみならず集団の中での療育も行えるよう図っています。	今後も、お子さんの状態を常に評価し、状態に合わせた課題を提供し、療育を促していきたいと思っています。
3		資格取得、または勉強会などに積極的に参加できる環境を整えています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での活動は少ない部分があります。	個々の特性に合わせていることもあり、集団での活動が少なめと考えています。	小学校等、各学校での集団行動や活動など、学校側と連携して取り組んでいきたいと考えています。
2			
3			